

師走筍、寒茄子

「師走(しわす) 筍(たけのこ)、寒(かん) 茄子(なすび)」は、師走(12月)の筍も寒(立前の30日間)の茄子も、昔はありえなかったことから、時期はずれの食べ物のことを指します。転じて、シーズン外ならば何でも珍味とされるという意味にも使われました。筍の中で一番美味とされるのは「孟宗竹(もうそうちく)」の筍です。その名の起こりとなった呉の孟宗は、古今の孝子の「二十四孝」のひとりです。

冬のさなかに母親が筍をほしがったため、孟宗は雪の中の竹やぶに筍を探しに向かいます。けれどもどれだけ探しても見つかりません。悲しみのあまり涙を落すと、たちまち筍が生えてきたそうです。このことから「雪中の筍」はありえないもののたとえとして、孝心の深いことや孝心が天に通じることが意味することわざに使います。1年中どこでも筍や茄子が手に入る現代では「師走筍」も「寒茄子」もピンとこない言葉かもしれません。今年、親孝行はできましたか？金商図書館は良書を用意してみなさんの手助けをします。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

新着雑誌

『文藝春秋オビニオン2015年の論点100』

日本の論点
2015

●2015年の日本を待ち受ける100の課題に105の知性が挑戦します。

図書委員がすすめる
読んで得するテッパン本

『風が強く吹いている』三浦しおん著

箱根駅伝を走りたいーそんな灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出します。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷を繋ぐことで、仲間と繋がっていきます。とても感動します。自分も見習いたいと思いました。(36H・37H)

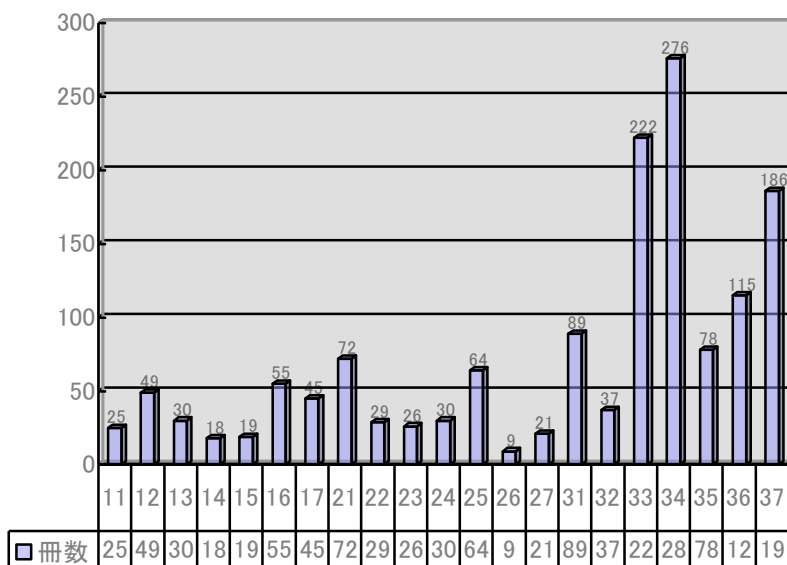
『ステップ』重松清著

成長していく姿がとても素晴らしいです。結婚3年目に妻が亡くなります。残された父と娘が悲しみを胸に少しずつ「育って」いきます。人の優しさと強さを、季節のうつろいとともに描いてあります。(36H)

『ソード・アート・オンライン』川原 礫著

ゲーム内で死亡すると、現実でも死亡する。そんなデスゲームにまきこまれたキリトが、生き残るために戦います。ゲームだからなんて考えは通じません。自分の中にあったゲームの常識が崩れます。(21H)

図書館利用統計【7月1日~11月30日】



7月~11月の図書貸し出し総数は1,495冊でした。開館日数は100日で、1日平均にすると約15冊の貸し出しです。学年別では3年生が1,003冊、2年生が251冊で、1年生は241冊でした。入館者の総数は10,026人で、1日平均約100人の利用でした。図書館での授業は87時間です。夏季休業明けから冬期休業までは、大切な試験や行事が多くありましたが、利用数の減少は見られませんでした。

募集！読書会を開催します！

*日時 12月18日(木) 15:30~16:30

*テキスト 『フォゲットミー、ノットブルー』 柚木 麻子著

(文藝春秋社 2012年発行『終点のあの子』より抜粋)

誰でも自由に参加できます。参加希望者は図書委員もしくは図書館まで。おいしいお菓子とお茶を用意して待っています！

